

9月24日～30日は結核予防週間です

“手をつなぎ 結核終息 世界の環”

昭和20年代まで「亡国病」と恐れられた結核も、今では医療と生活水準の向上により「薬を飲めば治る病気」になりました。現在、日本国内では「高齢者」の結核が大きな課題のひとつです。高齢者は、咳やたんなどの自覚症状がないこともあり、本人だけでなく周囲の方にも感染させてしまう危険があります。また、コロナ渦で健診の延期や受診控えにより、結核患者の発見が遅れていることが患者数の減少につながっている可能性があります。

結核患者の見逃しは、重症化だけでなく集団感染につながりかねません。ひとりひとりが結核について正しく知り、感染予防・早期発見・早期治療となるよう努めましょう。

結核ってどんな病気？

結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気です。たんのからむ咳、微熱や体のだるさが2週間以上続く場合は要注意！…ですが、高齢者の場合は咳やたん、発熱などの症状が出ないこともあります。疲れやすい、息が切れる、やせてきた、などの症状がある場合は、念のため医療機関を受診しましょう。



どのように感染する？

菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみなどの「しぶき」と一緒に結核菌が飛び散り、それを周囲の人が吸い込むことで感染します。

感染しても、すべての人が発病するわけではありません。健康であれば、免疫のはたらきによって結核菌を抑え込んでしまいます。

結核は治せるの？

結核と診断されても、複数の薬を6か月から9か月のあいだ、毎日きちんと飲めば治ります。症状がおさまったからといって勝手に服薬を止めてはいけません。菌自体が抵抗力をつけて、薬が効かない菌になる可能性があるからです。



結核は予防できるの？

特に症状が無くても、年に1回は必ず検診を受けましょう。山谷地域のある台東区・荒川区は、結核の罹患者率が国や都全体と比較しても高くなっています。早期に発見することで通院による治療が可能です。きちんと薬を飲み続ければ、菌の量は速やかに減り、周囲の人につす危険もなくなります。

☆センターでも無料の結核検診を行っています。次回は11月28日(月)の予定です。

普段の生活の中で予防するための5つのポイント

1. 適度な運動



2. 十分な睡眠



3. バランスの良い食事



4. タバコを吸わない



5. 定期健診



